

# ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



雪の下から掘り起こしたハクサイ。甘みがぎゅっと詰まっている

った加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販路拡大などに連携して取り組む。メンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。URLは<http://www.fuku-girl.jp/>

問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。

◆ふくしま農業女子ネットワーク(愛称:百笑一姫♡Fukuがある) 農業女子同士の交流・連携を深め、技術の向上を図ろうと、県内の女性就農者や就農希望者65人で構成。福島民報社をはじめ、県内の30企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使



木村 きむら 貴華子さん(会津若松市)

## 野菜の甘味雪で倍増

今年はずっと暖冬と気象庁から発表されました。磐梯山に3回雪が降った。平地にも雪が降る、と母に教えてもらいました。昔からの言い伝えです。カマキリが卵を高い位置に産みつけば大雪、低い位置ならばあまり雪が降らない、とも教わりました。私はカマキリの卵を見たことがありませんが、西会津町の友人が今年はずっと地上40センチのところで卵を見つけたそうです。会津で積雪が40センチほどとしたら、やはり今年はずっと暖冬なのでしょう。

待ち遠しい雪。雪の降り始めは心が躍ります。子どもの頃は雪が2センチ積もれば、家の前は立派なスキー場でした。集落のお寺の裏にある小さな坂も子どもたちのスキー場で、シ

ヤンプ台を作ったりして遊んでいました。学校にミニスキーで登校したら、どんなに楽だろうとも思っていました。新雪を踏みしめる「ムギユ、ムギユ」の音も好き。誰も足を踏み入れていない畑に、たくさん足跡を付けていたり、冷え込む朝は上に乗って沈まない固雪で覆われた畑道を歩いたり。生活していく上では雪が少ない方がはるかに便利ですが、雪国にはやはり、雪が必要なんです。雪は寒さも、おもしろさも、温かさも運んでくれます。

私たちが生産している雪下キャベツや雪下ハクサイは会津のブランド野菜です。野菜は寒さと闘いながら体の中で甘味成分を増やし、凍らなように工夫しているのです。雪の

下で、じっと耐えているのです。雪のおかげでおいしくなります。ニンジンもホウレン草も長ネギもカブも、みんな雪の下で「おいしさ倍増計画」をしてきているのです。雪が降る前に目印の棒を立てて、収穫は雪の中からスコップで掘り起こします。もちろん大変な作業ですが、宝探しみたいで少し楽しいです。会津盆地に雪が降り積もるのを祈るばかりです。

◆プロフィール◆ 会津若松市で両親、兄、おいと共に農園を経営。コマ、トマト、ブロッコリーを主軸にキュウリ、ナス、キャベツなど多品目を小ロットで栽培。直売所やスーパーの地場産コーナーで販売しているほか、県内外の対面販売イベントには「弥七農園」の名前で参加している。